

ケモミニ戦記 潔

トラック1…邂逅

∴（正面20センチ）

・（初対面です。少し事務的に。）

∴（主人公がノックする）

いいですよ。どうぞお入りください。

どうも、何か御用でしょうか？

∴何処かでお会いした事がある気がします…

12 ∴ああ、秘書官の方ですか。ええ、話には聞いています。

13 この階級ではその様な待遇を用意してくださると。

14 貴方が私の担当…と言うことで間違いないですね？

15 了解しました。以後よろしく願います。

16 獣人の部下、と言うのは気に食わないと感じるかも知れませんがね。

17 しかし、ご存知だと思いますが、私はピリタスの人間です。実力も認められての

18 階級ですので、他の獣人とは一緒くたにはしないでください。

19 ・（主人公：寧ろ光栄です。）

20 ……そう、貴方は変わっていますね。それでは簡単な業務の説明をしますね。

21 基本的に上の命令を下に伝達する…上位下達じょうゐかたつを徹底する為に私達は動きます。

22 それなりの権限は認められますが役職上、上と下の板挟みにもなることが多々あります。

23 面倒な仕事ですが…これも我が帝国の為です。

24 ちろしくお願いしますよ？

25

26

27 トリック2…愚痴

28

29 ……（右前30センチ）

30 ・（一人で仕事の愚痴をこぼす）

31

32 はあ…嫌になりますよ、馬鹿で無能なくせに態度だけはデカい人間も

33 嫉妬心だけは一人前の獣人も…まともなのは私だけです…

34

35 //（主人公：コーヒーを淹れてあげて愚痴に乗る）

36 …(正面20センチ)

37 ・(ちょっと嬉しそうに)

38

39 あ、どうも…コーヒ…

40 …聞いていたんですか？…

41 別に愚痴というか…なんでもいいでしょう。貴方には関係ないですよ。

42 え、貴方も？

43 ええ、分かります。

44 あの女狐、なんか見下している感じが透けていて気に食わないですね…

45 …何ニコニコしているんですか…全く。

46 私は上官ですよ？貴方がそういった差別意識を持っていないのは知っていますが。

47 もう少し距離感といいますかね…

48 …仕方ないですね、もう少しだけ雑談に付き合ってあげますよ。

49 感謝してくださいね。全く…

50

51 ・(好きなものを語るオタク感)

52

53 ふふふ、そこに飾ってある銃は私の私物ですよ。

54 はい、個人的に銃が好きなんです。

55 市販の物を私が改造したんですよ。これ。

56 幼少の頃から触れる機会が多くてですね、今では一番の趣味ですよ。

57 本当は民間向けの物ではなく軍用のものなのですが…

58 勝手に弄れませんしね…軍人の身でありながらむず痒いものです。

59 ほら、他にも見せてあげますよ。私の愛銃達…特別ですよ？

60 ああ…それは狩猟用の散弾銃です。

61 戦争では人道的な問題で使用は自粛される様な代物ですよ。

62 …まあ、私達獣人には平気で使用されますけどね…

63 でも、決して兵器に罪はないと思います。どれも愛すべき技術の結晶です。

64 それはですね…

65

66 ・（ハッとして喋りすぎた事を恥ずかしがる）

67

68 あ…少し喋り過ぎたかも知れませんか…

69 もうこんな時間に…もうお帰りいただいて大丈夫ですよ。

70 はい、お疲れ様です。

71

72 ・(独り言)

73
74 はあ…久しぶりに人と会話をした気がします。

75 明日もまた私の愛銃達の事を教えてあげない…と…

76 なんだか私、あの方と話すのを楽しみにしているような…

77 ううん、しっかりしなさい私。

78 彼は人間、彼と私には壁があるのだから。

79 立場を弁えないと…

80 …だけど…もう少しくらいなら…仲良く出来る…かも知れませんね…

81

82 トラック3…孤児

83

84 …(正面20センチ)

85 ・(主人公と仲良くしたいがどうすればいいか分からず、から回る感じ)

86

87 あ…こゝ こんにちは。

88 …ふふっ…今日も私に会いに来たのですか？いい心がけです。

89

90 //（主人公…仕事ですので）

91 ・（明らかにガッカリして）

92

93 え、仕事…そ、そうですね！仕事ですもんね…あはは…

94 何笑っているんですか…

95 冗談？

96 く／＼貴方と言う人はく

97 今日はすぐには返しませんからね！

98 何が可愛いですか、私はクール系です。

99 カッコいいや美しいが適切な言葉だと思います。

100 全く、貴方と言う人は…

101 ほら、さっさと業務を開始しますよ。

102 …その前に…貴方には共有しておきたい事が。

103 極秘の情報です。人払いをお願いします。

104

105 はい、ありがとうございます。

106

107

108 …(正面15センチ)

109 ・(密談をするように声のボリュームを落として)

110

111 これは上級士官以上の階級にしか知らされていませんが、

112 「山崩し」と言う名称の極秘作戦が考案され、既に実行に移されています。
やまぐず

113 はい、数ヶ月間突破出来ずに停滞している戦線、その原因となっている

114 山岳要塞に対して潜入工作を行う作戦です。

115 貴方に共有した理由なのですが…所々不可解な点が見られ、

116 正直きな臭いです。そこで不測の事態が起きた時に対応する為

117 貴方にも共有しておきます。

118 まず、何故今更この戦線に注目したのか理解できません。

119 正直ここは地形的に面倒が過ぎますからね、実際今まで放置していましたし。

120 唐突に上の意向が変わっています。

121 そして人選。

122 オルファンは…まあ、仕事は出来る獣人です。仕事は。

123 しかし、上は彼女を動かすのを躊躇っていました。

124 この国、帝国の暗部を知り過ぎている上に指名手配までされている。

125 その上獣人という事もあり、

126 一部過激な派閥は彼女の抹殺すら提案していました。

127 …彼女は良くも悪くも本当に空っぽだから、

128 謀反なんて考える訳ないのですけどね…

129 もし彼女が何か問題を起こすとしたら…

130 どうでしょう…きっと男に入れ込んでに唆されたとかそんなところですよ。

131 兎に角、そんな彼女をいきなり動かすなんて…

132 しかも、彼女を使うならこの作戦は単独で問題無いはずです。

133 ですが、このよく分からない人間も作戦に動員されています。

134 そして、既にこの作戦では空路にて作戦開始地点に移動していた所、

135 何らかのトラブル発生し

136 撃墜されるという事故が発生しています。

137 彼女とその人間は生存していますが…

138 はい、勿論あつてはならないミスです。

139 正直、まともな作戦では無いことは間違いありません。

140 今後の報告次第では戦況そのものが大きく動く可能性がありますので、

141 情報が入り次第貴方にも共有しますが、決して外部に漏らさない様に。

142 ええ、ではそれぞれの業務に戻りましょう。

143

144 トリック4…恋、故意、

145

146 …(正面20センチ)

147 ・(仕事を終え愚痴混じりの独り言、主人公と会っのを楽しみにしている)

148

149 はあ…なんなんです、獣人の命令には従えないって…

150 それ以前に私は上官ですよ…少しは立場つてのを考えてくださいよ…

151 そのせいで私が上から詰められるなんて…

152 はあ…本当に嫌な役回り。

153 同じ獣人にすら温室育ちだのコネだのイチャモン飛ばしてくるし。

154 馬鹿ばかり。

155 その点、彼は私をちゃんと見てくれるし…

156 まあ…その、いいやつ…ですよね！

157 そろそろ彼と会う時間のはず…

158 ちょっと早いけど、

159 向かいに行つてあげようかな…

160 ふふっ…上官直々に向かいに行つてあげるなんて。

161 きつと彼も大喜びに間違いなしですね！

162

163 //向かいに行き、そこで人間の女性と楽しげに話す主人公を見かけます)

164

165 あ、いたいた。

166 ふふふ…

167 私が直々に向かいに来て（あげましたよ）…

168

169 ・（それに気づきさつとヒロインは隠れてしまう）

170

171 あ…誰かと話してるんですね…

172 人間の女性の方…ですよ…彼、凄く楽しそう…

173 …私と話している時にあんな顔している所…見た事ないです…

174 私、馬鹿みたい…

175

176 //走ってその場から逃げ出す)

177 ・（失恋して一人嘆く）

178 ・（バカの部分は主人公へ向けた物）

179

180 分かっていたはずなんですけどね…

181 お互いの壁の事…彼は人で私は獣人。

182 なのに勝手に舞い上がって…その先に期待して…

183 勝手にこうやって悔いているんですか。

184 情けない…馬鹿…大馬鹿者…バカ

185

186 //

(主人公に見つかる)

187 ::(正面15センチ)

188 ・(必死に誤魔化すように)

189

190 あ…貴方にだけは…見られなくなかったですけどね…

191 いえ、なんでもないですよ。

192 今は…少し…だけ…そういう気分なんです。

193

194 //

(主人公がヒロインを連れていく)

195 ::(右耳側15センチに移動)

196

197 えっ…ちよっと、何するんですか…どこへ連れて行くうと…

198 あ…質問に答えて下さいよ…

199 もう…わかりました。貴方に全て任せます…

200 だから…そんなに優しくしないでください…

201

202 // (主人公の家)

203 :(正面15センチ)

204 ・(少し落ち着いたが主人公の家に来て緊張している様子)

205

206 お、お邪魔します…

207 人のお家にお邪魔するのは初めてです…

208 少々…緊張してしまいますね…

209 その…すいませんね要らぬ心配をかけてしまって…

210 もう…大丈夫ですから…

211 あ、コーヒー…どうもありがとうございます。

212 あったかくて美味しい…

213 何も…聞かないでくれるんですね…

214

215 ・(怖さ半分期待半分で覚悟を決めて会話を切り出す)

216

217 その…私なんかを招待しても大丈夫なんですか？

218 ほら…例えばですが…

219 さつき会話していらした女性の方を招待された方がきつと

220 貴方も楽しめるのでは…ないでしょうか…

221 同期の友人なんですね。どうりで…

222 やはり、貴方は彼女のことを…気になったりするのですか？

223 え、恋愛対象じゃないって…中々言い切りますね…

224 相談をしていらしたのですか…それはどのような…

225 女性への自然な贈り物の渡し方ですか。

226 確かに…貴方が苦手そうなことですね。うふふ…

227 え、これが…私宛って…？何故ですか？誕生日などと言つ訳ではないのですが…

228 とても嬉しいですが、そんな事をしたら色々な方に勘違いされてしまいますよ？

229 その、ケモナー…だと…

230 否定、しないんですね。

231 それなら、私も正直な気持ちを…伝えちゃいますよ…

232 もう引き返しませんからね。

233 貴方のことが…君のことが、大好きです。

234 初めての友人だと、勝手に思っていました。

235 でも、それで満足できなかったんです。

236 その先を…望んでしまいました。

237 私を…君の特別な人にしてくれませんか…？

238

239 //（主人公が抱きつき承諾する。）

240 ∴（左耳5センチ）

241 ・（感極まった様子で）

242

243 ありがとうございます…

244 せっかく落ち着いたと言うのに…

245 また…君に泣かされちゃいましたよ…この女泣かせ…

246 ・（ヒロインが落ち着くまでの間）

247 …その…じつやって抱き合っているのも十分至福なのですが…

248 せっかく君が用意してくれた贈り物…中を拝見させて頂いてもいいですか？

249 はい…君に直接感想と感謝を伝えたいので…

250

251 ∴（正面15センチ）

252

253 これは…将校向け自動拳銃の…

254 高級品で入手困難な物じゃないですか。

255 凄く高価だったでしょう…こんな物を頂けるなんて…

256 私は間違いなく世界一の幸せ者です。

257 本当に嬉しいです。ありがとうございます…

258 大袈裟なんかじゃないですよ。一生大事にします。

259 いいえ、この銃は改造なんかしませんよ。

260 この状態が完璧なんです。貴方からの愛が詰まっているんですよ？

261 何をしてても蛇足です。

262 私に今すぐ何かお返しできる物があれば何でもするのですが…

263 生憎財布は置いてきてしまっていて…

264

265 ・（主人公…お返しなんていらないよ）

266

267 いいえダメなんです、何か私にお返しをさせてください。

268 私は君と対等で居たいんです。

269 君が合わせてくれた目線を、甘えて捨てたりなんて絶対にしたくないです。

270 ですからね…何か私に出来ることがあれば何でもしますから。

271 ほら、何だって良いんですよ。

272 私を求めて下さいよ。

273

274 ・(恥ずかしがるように)

275

276 その…君が求めるなら…そういうこと…だって

277 は、はい！ え…キ、キス…ですか…

278 ち、違いますよ！全然嫌じゃないです！

279 私も…したい…です。

280 しかしですね、その…心の準備といえますか…覚悟がですね…

281 あーもうー良いです！君がリードして下さい！

282

283 ・(正面5センチ)

284 ・(は囁き声)

285

286 ほら、待ってますから。来て下さい…

287 んっ…

288 【ぎょちない深めのキス】

289 んっ…ん…ん…ちゅ…ん…

290 はぁ…はぁ…もっと…

291 【ぎょちなく激しめのキス】

292 んん…はぁ…はぁ…んっ…ちゅ…

293 ん…ん…ん…

294 はぁ…大好きです…

295

296 トリック5…密愛

297

298 …(正面10センチ)

299 …(火照って少し緊張した様子)

300

301 ねえ…私は大丈夫ですから…押し倒して…くれませんか？

302 覚悟はできています…

303 // (ベッドに押し倒す)

304 その、当然私…処女ですので…

305 優しく…いえ、君が優しくしてくれない訳無いですもんね。

306 それじゃあ…沢山愛して下さい。約束ですよ？

307 私は君以外絶対に考えられませんから。うふふ…

308 服…脱がせ方分かりますか？

309 はい…君に脱がして…貰いたいな…なんて…

310 たまには乙女らしく甘えたいんですよ…

311 はい！お願いします。

312 まずはそのボタンを…はい、そうです。

313 そう…それを外せば…

314 //（脱がし終える）

315 その…どうでしょうか…

316 私の生まれたままの姿…

317 気に入ってくれたら、嬉しいです。

318 君だけの体ですから。他の人たちには絶対に見せない、

319 君専用のものですよ。ちょっと恥ずかしいですけど…

320 そうですか…そんなに気に入ってくれたのなら、良かったです…

321 あ…君の服は私が脱がしてあげますね。

322 //（主人公を脱がす）

323 ぐっすり…そ、それでは！

324 出てきた…

325 こ…これが、君の…

326 その…凄く…立派ですね…凄く…ドキドキしてしまいます…

327 こんな立派なものが…私の中に…

328 とても想像つきませんね…

329 君は…経験の方は…あるんですか？

330

331 ・（主人公…初めてです）

332

333 そうですか！それはそれは…

334 そりゃあ嬉しいに決まっているじゃ無いですか。

335 君が他の女性と話しているだけで泣き出すような女ですよ、私。

336 独占欲は人一倍強いほうだと思います。君に関しての事は特にです。

337 もし浮気したら…君を殺して私も死にます。

338 ちゃんと責任取ってもらいますから。

339 …ふふふ…なんて、君に限ってそんな酷い事する訳無いですよね。

340 私もう…我慢できないです…

341 ずっと君に抱かれたくて発情…しちゃっているんです。

342 君もそろそろ…限界じゃ無いですか？

343 はい、その…お願いします。

344 避妊具…は持ち合わせて無いですよね…

345 今、発情期です。中に出されると…きっと赤ちゃん…できちゃいます…

346 それは自体は本望なのですが、流石に今妊娠するのは色々と問題が多すぎますから。

347 いえ、もう待てませんので…

348 外に出して下さい。君に任せます。

349 ふふふっ…信頼していますからね？

350 それでは、私を愛して下さい…！

351

352 //（挿入、破瓜）

353

354 先っぽ…入ってきて…

355 んっ！んっ…っ…

356 はぁ…はぁ…

357 全部…入っていますね…凄い…

358 はい…大丈夫です。とても優しくしてくれましたから。

359 痛みの何十倍も幸福感を感じていますよ。

360 ほんつとくに幸せです。

361 君の方は…どうですか？

362 私の中…気持ちいいでしょうか？

363 そ、そんなに締め付けちゃっているんですか…私。

364 そ、そのごめんなさい？でも頑張って射精は我慢して下さいね。

365 応援していますから。うふふ…

366 はい、もう動いても大丈夫ですよ。

367 結構慣れてきましたし…

368 それに…これ以上焦らされる方が…やーです…

369 // (ゆっくり抽送)

370 はあ…はあ…んっ…はあ…

371 いい感じです…凄く…

372 はあ…はあ…上手じゃないですか。

373 とっても気持ちいいです。

374 私の中を出たり…んっ…入ったり…

375 すっごくえっちな感じがしますね…

376 あ……すいませんベッドに血が…

377 いえ、やめないでください。

378 全然平気ですから。

379

380 // (主人公：ヒロインの心配をする)

381

382 ですから、私の心配なんかなくていいですよ。

383 それよりベッドをですね…

384 もう…君は優しすぎですよ…

385 私は大丈夫ですって、痛みだって全然感じていませんから…

386 …あ、やっぱり心が痛いです。なのでキスをして慰めて下さい。

387 さあ、早く。激しくて深いやつです。んっ…

388 【激しいキス】

389 んん…ん…ちゅ…はぁ…はぁ…

390 んゝまだまだ痛みますねこれは…もつとです…

391 ほら…早く…んっ…

392 【激しいキス】

393 んん…ちゅ…ちゅ…ん…はぁ…はぁ…んんっ…ん…

394 はぁ…はぁ…はい…もう完全回復しましたよ。最高です。

395 // (抽あ送ストップ)

396 …どうして動くの止めちゃうんですか？

397 凄い良かったのに…

398 もしかして…もう限界が近いんですか？

399 それはそれは…ふふっ、仕方ないですね。

400 もう我慢しなくてもいいですから、激しくしちゃってくださいよ。

401 はい、私もそろそろ…限界が近そうなので、一緒にイキたいです…

402 あ、中にだけは出しちゃダメですからね。外に出して下さい。絶対ですよ？

403 きっと…私はギリギリになった時に

404 中に出して…とおねだりしちゃうと思います。

405 私の性格上きっと、いえ絶対にやっちゃいますね。

406 それを振り切って外に出すんですよ。君にかかっていますからね。

407 優しい君には酷なお願いかもしれませんが…

408 まあ…頑張ってください。ふふっ…

409 // (激しめの抽送)

410 んっ…激し…あっ…あっ…

411 優しくされるのも…大好きですけど…

412 こうやって…少し乱暴なくらいに激しく求められるのは…

413 はあ…はあ…ヤバイですね…

414 頭が…ぼーとしてきました…

415

416 ・（完全に発情した様子）

417 …（右耳元）

418

419 好き…好きですよ…大好きです…

420 はあ…好き…好き好き…

421 んっ…もつと激しくなった♡

422 あっ…あっ…私の中で君のビクビク震えて…

423 もう…出そうなんです…

424 ちよっとなぐに抜こうとしているんですか♡

425 ダメですよ…もういいじゃないですか♡

426 私の中にお射精しちゃいまじょうよう♡

427 ぐちぐちくるせいですね…くるせいの口はじつです♡

428 ぐっ//

429 【激しいキス】

430

431 はあ…はあ…もう私…イっちゃいそうです♡

432 ねえ…大丈夫ですっ♡♡

433 私のこと、好きなんですよね？♡

434 なら、私の中に精子全部出して下さい♡

435 私達二人の愛の結晶、欲しく無いんですか？

436 君と作る幸せな家庭…絶対最高に決まっていますね♡

437

438 …（左耳二つ）

439

440 ぎゅ♡ふふっ…これでもう逃げられませんよ♡

441 ほぅら、だーせ♡だーせ♡

442 もう君の…ドクンドクンと脈打って…完全に私のこと孕ませるつもりだ…♡

443 私…もうイキますから♡はぁ…はぁ…あっ…♡

444 ちょっと！なんで抜いちゃうんですか！

445 あっ…♡

446 【射精】

447 …（正面5センチ）

448

449 凄い…ビュルビュル♡ピュッピュッと私のお腹に…

450 あったかくて…ああ…勿体ないですよ…

451 もう♡それじゃあせめて飲んじゃいますね♡

452 こんなに出して…ちょっと掬^{すく}って♡

453 いただきます♡

454

455 ・（落ち着きを取り戻して）

456

457 うっ…！に、苦い…

458 はあ…ちよつと頭が飛んじやっていたみたいです…

459 …私の体の惨状を見るに、しつかり外に出してくれたみたいです…

460 にしても出しすぎですよ…

461 中に出されていたら絶対妊娠していました…

462 …なぜそんなに息を切らしているんですか？

463 え…わ、私がそんなことを…//

464 やっぱり抑えきれていませんでしたか。

465 うふふ…よく耐えましたね。流石です。

466 ちよつと悔しいですけど…

467

468 トリック6：密愛2

469

シャワー貸してくれるんですか。

470

471 このままだと色々大変だったんで、ありがとうございます。

472 あの…一緒に…入ってくれませんか？

473 一人は…寂しいです…

474 はい！お願いします。

475

476 //（浴室に移動、二人で浴槽に）

477 ・（少し恥じらいながら）

478 ：（正面5センチ）

479

480 いいですね、これ…

481 私の実家の浴槽はもっと広かったですし。いつも一人だったので…

482 いえ、違いますよ。こうやって所狭しと愛しの人と密着して入るお風呂。

483 これよりいいものなんて無いに決まっているじゃ無いですか。

484 そういうものですよ。うふふ…

485 ところで…先ほどから視線が気になるのですが…

486 私の胸…そんなに気になりますか？

487 いえ…全然…君になら見られても嫌じゃ無いですし…

488 気に入って貰えたなら寧ろ嬉しいですよ。

489 触って…見ますか？

490 そこそこ楽しめるくらいには…その大きい方かと…

491 はい…どうぞ好きな様に…

492

493 ・（独り言を呟く様に）

494

495 は、恥ずかしい…

496 そんなに良いものなんですかね。

497 こんなに夢中に揉んじゃって…

498 少し可愛いです…うふふ…

499 いえ、なんでも無いですから。

500 ところで…どうですか？私の胸…

501 そうですか、大満足ですか。

502 うふふ…おや、これはこれは…

503 君の大切なところ、どうやらお元気みたいですよ。

504 ちょっと触ってみても良いですか？

505 先ほど見せて貰いましたが、手で触れてみたいです。

506 ふふふ…ありがとうございます。それでは早速…

507 ツンツン…ツン…うーん…なんと言えば良いんですかね…

508 結構弾力があるといえますか、芯みtainな部分があるんですね。

509 結構硬い。

510 これが私の中に…やっぱり想像し難いですが…

511 でも、とても愛しく感じます。大切にしなくては…と。

512 そうだ、良いことを思いつきました。

513 君の…その…大切な所を私の胸で挟むというのはどうでしょうか！

514 ふふ…斬新で気の利いた提案、正に良妻の鑑ですね。

515 ほら、きつと気持ちいいですよ。柔らかいですし。

516 物は試しです。腰、浮かして下さい。私が支えるので。

517 よし…準備は完璧ですね。それでは挟み込みますよっ…と

518 むむ…少々サイズが足りず、ミサイルの弾頭の様な部分が飛び出していますね。

519 まあいつか…

520 その…どうでしょうか？ふふ…ご満悦なようで…

521 他にしたい事があれば何でも言うて下さいよ。任せて下さい！

522 ふむ…この状態で胸を上下に…ですか。難しく無いですかそれ？

523 自由に動かせる程の大きさでは無いですし。それに摩擦で結構痛そうですね。

524 え、ローションが置いてあるんですか？

525 …なぜそれを持っているか後で詳しく聞きますが…

526 取り敢えず試してみましようか。

527 ローションを胸に垂らして…凄くぬるぬるになりましたね…

528 それではもう一度…挟み込んで…と。

529 お、いい感じかもです。

530 とうですか？気持ちいいでしょうか。

531

532 //

533

534 おや、ビクビクつと…こっちで返事しないでくださいよ。全く…

535 まあ…良さげですので続けますね…

536 こう…上下に…ズリ…ズリ…と…あ、すっぱ抜けた。もう一度…よし…

537 やっぱ難しいですよ。これ…

538 そこそこ胸は大き方だと思っんですけどね…

539 君が喜んでくれるならいいですけど…

540 先っぽが出てきて…引っ込んで…こんな間近で見ると迫力満点ですね。

541 もし…これで乱暴にされたとしたら…ゴクリ

542 いえ！心配している訳じゃないですよ！

543 君がその様なことを決してしないことは重々理解していますよ。

544 だからこそといえますかね…期待してしまうと言いますか…

545 今度…媚薬でも盛ってみるのも…あり、ですね。

546 ま、まあ、気にしないでくださいよ。

547 今は快樂に身を任せてください。

548 頑張つて胸動かしていますから。

549 うふふ…パチュ…パチュ…といやらしい音がしちやいますね。

550 君も興奮しすぎて、そろそろ…限界が近そうですね。

551 バレバレですよ、こんなにビクビクさせて。

552 もう限界なんだな…と誰だつて気づいちゃいますよ。

553 遠慮しないでください。君が気持ちよくなれる様、

554 精一杯御奉仕しますから。

555 ほら、どうして欲しいんですか？

556 ふむ、ギュツと強く挟み込んでもっと早く…

557 ふふふ…任せてください。大分コツは掴みましたので。

558 ほら…ぎゅっ

559

560 // (パイズリ早く)

561

562 うふふ…随分と気持ちよさそうじゃ無いですか。

563 腰、浮いちゃっていますよ？

564 はい、勿論いつでも射精して大丈夫ですからね。

565 しっかりこの胸で受け止めますから。

566 それでは…ラストスパート、行きますよ？

567 パチュンパチュンと…ああ…もうダメそうですね…

568 ビクビクさせすぎですよ。

569 ほら、いいですよ。お射精どうぞ！

570

571 // (射精)

572

573 あ、ピュっピューと精液、胸の中に出しちゃっていますね…

574 全部出しきちゃっていいですから。

575 ふふふ…治りましたね。

576 おお…これは、胸に精液で橋がかかっています。

577 なんだか…凄くえっちですね。

578 君の精液…粘つくくて…すんすん…えっちな匂いがします。

579

580 // (恐る恐る精液を飲み込む)

581

582 …よし、あむっ…うつ！…うつ…んっ…ん…

583 はぁ…はぁ…いえ、お気遣いは不要ですよ…

584 愛情表現として君の精液を飲みたかったんです。

585 ふふ…にしても、中々ハードルが高いものですね…

586 いつかは、直接啜え込んで飲み込める様になれたらいいのですが…

587 まあ、今後に期待ということで…

588 それでは…流石に上がりましょうか、これ以上浸かっているのはばせてしまいますから。

589 はい、では先に失礼しますね。その…寝室で待っていますから…

590

591 トラックフ…秘密

592

593 …(右隣5センチ)

594 •(初々しい感じで)

595

あはは…やっぱり恥ずかしいですね。

596

597 こうして二人並んで寝るといのは…

598

その…寝る前に一つだけ…言わなければならないことが…

599

いやー、その…ですね。

600

君は私の初めてを…貰ってくれましたよね…

601

いやいや！後悔している訳ないじゃないですか！

602

ここでそんな事言ったら私、とんでもないクソビッチですよ…全く。

603

ですからね…私の家系…^{かけい}君も知っているとありますが。

604

政治に顔を出す程度には影響力を持った家です。

605

獣人とはいえその一人娘である私の純潔は、

606

言ってしまうば政治道具の一つなんですよ。

607

はい、君にあげちゃいました。

608

君はそこまで階級が高いわけでは無いので…

609

まあ…交際なんて絶対に認められません。

610

つまりですね、この事がバレたら私は家から追放されるかもしれませんし…

611

君は…どうなっちゃうんですかね。あはは…

612

いやーすいませんね。これを言ったら君は絶対に抱いてくれないと思ひまして…

613 まあ、やつちゃったからには仕方ないですからね！

614 君は頑張って昇進してください！私との婚約が認められるくらい！

615 大丈夫ですよ。君は優秀ですから！

616 それまでは…こっそり愛し合いましょ♡

617 当たり前じゃ無いですか。君が昇進するまでお預けとか、できる訳ないですよ。

618 ふふ…これからが楽しみですね。

619 それでは…今日はもう寝ましようか。

620 はい。お休みなさい…

621 ……………すいません。やっぱり抱きしめてください。

622 はい、抱き枕みたいに…君に…包まれながらがいいです…

623 はぁ…最高です…

624

625 // (添い寝60秒)

626

627 トリック8：密愛3

628

629 ∴ (左斜め前20センチ)

630 ・ (勤務中にこっそり話しかけに行く)

631 // (前回より1ヶ月ほど経過)

632

633 ふあゝ今日も業務が盛りだくさんでしたね。

634 はい、私の分はもう終わりました。

635

636 ∴ (次のセリフで左10センチに近づく)

637

638 どれどれ、君の方は…と…

639 あともう少しじゃないですか。

640 …ふむ、今日は来客の予定はありませんよね。

641 なら…やることは一つしかありませんね♡

642 えーいいじゃないですか。バレせんって♡

643 私、君と二人きりになる事だけを楽しみに生きているんですよ？

644 そんな健気な彼女のお誘いを無碍になんてしませんよね♡

645 む…結構頑固ですね…じゃあいいですよ。

646 私が勝手にするので、お仕事続けといてくださいよ。

647

648 ∴ (右耳二元に)

649 ・（わざとらしく）

650

651 お召し物、脱がせてあげますね♡

652 いいじゃないですか。ズボンくらい脱いだ方が仕事も捗りますよ。

653 よいしょ…と…おやおや、君もやる気満々じゃないですか♡

654 もっと素直になればいいのに、全く、可愛いんですから♡

655 そうですね…それでは今回はこの手袋を着けたまま御奉仕してあげますよ。

656 はい、すぐくスベスベできっと物凄く気持ちいいですよ♡多分。

657 因みに、お値段は一^{ごっかん}双で君の月給くらいですかね。

658 流石に精液を受け止めたら使えなくなってしまうので、

659 射精はハンカチにお願いしますね。

660 それでは早速さすさすしちゃいますよ…♡

661

662 //（フェザータッチの手袋コキ）

663 ・（ちよつといじわるな感じ）

664

665 すり…すり…うふふ、優しくフェザータッチです。

666 強く握ってお仕事の邪魔をしてはいけませんからね♡

667 そっつと…すり…すり…さわさわ…

668 すりすり、すりすり、シンシン…

669 すりすり…さわさわ…シュッシュッ…シロシロシロッ！

670 うふふ…どっしたんですか？

671 仕事に集中しなきゃダメじゃないですか。

672 何でもないですけど、なーんの意味も無いんですけどカウントダウン、

673 数えていますね♡

674 じゅっっ、きゅっっ、はっち、ふふっ何でも無いですって。お気にならないうぜ♡

675 なっな、ろっく、ごっおー！

676 じっからはぎゅっっ握っちゃいます♡

677 よっん、さっん、にっい、いちーぜっ…

678

679 // (ストップ)

680

681 出しちゃダメ、です♡

682 あれっどうしたんですか？

683 まさかいきなり射精なんて…

684

685 ・（ふと冷静に）

686

687 あ、やばいやつだ…

688 お、落ち着いてくださいよ、ね？

689 我慢です。我慢。

690 ほら、力を抜いて落ち着くんです。

691 あゝダメですよ！ビクンビクンさせちゃダメです！

692 マジですか…もう我慢出来る段階超えちゃっていましたか…

693 あっ…精液が出てきちゃってる…

694 …あれ？なんだか様子がおかしいですよ。

695 こう…いつもは勢い良くピュッピュッと出すじゃないですか。

696 今回はなんだか…漏れ出す様にたらくと…

697 もしかして…毎日出させ過ぎたせいで精液枯れちゃったのでしょうか…

698 ん…そういう訳ではないのですか？

699 甘出し…ふむ、よく分かりませんが君の体に問題が起きていないなら良かったです。

700 ほう…確かにまだ君の大切なところ、元気を維持出来ていますね。

701 これが甘出し…凄いいじゃないですか。もっとこれやりましょうよ！

702 あ…君の負担が凄いですね…確かに苦しそうでしたし…

703 流石にこれ以上君をいじめるような趣味はありませんよ。

704 普通に手袋でシコシコしてあげますから。

705 気持ちいい射精してスッキリしましょうか。

706 はい、それではもう一度握りますね。

707

708 //

(手袋こきスタート)

709

710 シーコシコ…シーコシコ…

711 どうですか？気持ちいいですか？

712 そうですか、それはよかったです。

713 君の精液が潤滑油になってもっと気持ちよく…

714 あ、やってしまいました…手袋が…すんすん…

715 君の匂いが染み付いてしまいました…

716 洗濯すれば人間にはバレないと思いますが…

717 獣人は気付きますよ、これ…しかも、多分最悪な解釈をされます。

718 私への嫌がらせで誰かがぶっかけた…と

719 ご褒美なのに…

720 仕方ないので君にあげ…

721 いや自分の精液が染み付いた手袋とか呪物みたいな物ですよね…

722 …私にとってはお宝ですので大切に保管することにします。

723

724 //（主人公：捨てなさい）

725

726 嫌です。捨てません。私の物です。

727 ほら、シロシロ続けますよ！

728 シロシロしゅっしゅっ…シロシロしゅっしゅっ…

729 ほらほら、私の手袋、気持ちいいですか？

730 初めて手でした時は下手過ぎて君が射精してくれるのに半日かかりましたからね…

731 流石に猛勉強しましたよ。今ではこの通りです。ふふふ…

732 シロシロ…しゅっしゅっ…

733 おや…カウパーが出てきましたね…

734 ふふふ…こちらもしっかり染み込ませて…最強の手袋を作りますよ…

735 いいじゃないですか。減るもんじゃないですし。

736 嫌なら出さなければ良いんですよ。

737 …ぐんぐん出てきちゃいますね♡

738 ふふふ…

739 シ〇シ〇シ〇…そろそろお射精したいですね…

740 二回目ということもあって体力的に辛いでしょう？

741 君の事を支えてあげるのが私の勤めです。

742 これ以上シ〇シ〇されても疲れちゃいますよね？

743 大丈夫です。すぐに射精させてあげますから。

744 先っぽの段差をよく引っ掛けるように…

745 シ〇シ〇…シ〇シ〇シ〇！

746 はい、もう出ますね。

747 手袋に全部出してください！お射精ごーぞ！

748

749 //（射精）

750

751 プュッピュ〜ピュルル〜！

752 おお…凄い。二回目なのにこの勢い…そしてこの量…

753 落ち着きましたね。精液…お掃除しますので…

754 よし…綺麗に拭き取れました。

755 ふふふ…君はこれでスッキリした状態で業務に臨めますし、

756 私は最強の手袋を手に入れました。win-winと謳ってます。

757

758 // (主人公…捨てなさい)

759

760 嫌です、これは私の物です。

761 君がいない時はこれを嗅いで正気を保つんです。

762 それでは、今日はお先に君の部屋で待っていますから、早く帰ってきてくださいね？

763

764 トリック9：ビリタスへ

765

766 ∴(正面20センチ)

767 ・(状況説明の為落ち着いた様子)

768 // (前回より数ヶ月経過)

769

770 はぁ…まさかこうなってしまうとは…

771 山崩しの成功までは好調だったと言うのに。

772 そこでオルファンを失ったのが痛過ぎたんです…

773 やはりあの作戦は中止させるべきでした。

774 しかも仲間割れによる相打ちだなんて…彼女がやる訳ないですよ。

775 絶対に何かに嵌められたんです。

776 その結果がこの様です。

777 獲得した領土の半分以上を損失、

778 戦死者はもう数えたくもありません…

779 4人だから5人程いた特殊作戦部隊は全滅です。

780 はっきり言って敗戦は確定事項…

781 …君は前線に異動を命じられてしまいましたね。

782 現場に立てる指揮官がもう残っていないんですよ。

783 でも大丈夫です！私が実家に掛け合って君は残れる様にしますから！

784

785 ・（懇願するように）

786 …（正面10センチに移動）

787

788 お願いですから…そこは首を縦に振ってくださいよ…

789 本当に死んじゃいますよ！良いじゃないですか…

790 そうだ！二人で駆け落ちしましょうよ！

791 どうせこの国はもうダメですからね！それが良いですよ！

792 ほら、そうと決まれば準備をしないとですね！

793 どこが良いでしょうか…出来れば獣人の人権が認められている国がいいですけど、

794 別に君のペット扱いでもぜんぜんウェルカムですからね！

795 首輪とか持って行っちゃいまいしょうか！

796 ねえ…お願いですから…

797

798 ／＼（主人公…それでは君に相応しい男にはなれないから）

799

800 もういいですって！、実家はもう捨てますから！

801 君の！君のウルーラになりたいんです！

802 確かに君は凄く頑張ってくれました。

803 順当に行けばきつと来年には正式に夫婦めおとになれたはずです…

804 でも、そうは行かなくなっただんですよ！

805 死んじやったら…本当に終わりじゃないですか…

806 私の悪いとこ全部直しますから、言うこと何でも聞きますから…

807 お願いします…行かないで…

808 …そうですか…ダメ…ですか…

809 謝らないで下さいよ…謝るくらいなら行かないですよ…

810 …明日には…本部を出るんですよ…

811 でしたら…せめてものお願いです。

812 最後に抱いてください…

813 はい、初めて私を抱いてくれた、君の部屋で…

814

815 ・(正面5センチ)

816 // (悟ったように落ち着いて)

817

818 初めて君に抱かれた日が懐かしいですね…

819 そう、お互い初めてで…最高の初体験でした。

820 あんなに最高のスタートを切ったんですから、

821 二人してえっち大好きカップルになるのも当然ですよ…

822 でも、あの日のスタートは最悪だったんですよ？

823 君を人間の女に取られちゃうんだって…

824 悲し過ぎて一人でわんわん泣いていました、獣人だけに。

825 ですからね…私はまた君を失うかもしれないのだって…最悪よりもっと最悪なんです。

826 でも、いつの日か今日は最高の日だったって、言える様に…私を愛してください…！

827 はい、絶対ですよ？

828 それでは…始めましょうか…

829 服、脱がしてください…

830 ふふふ…服を脱がすの、随分と上手になりましたね…

831 もう私の体は見慣れてしまいましたか？

832 そうですか、まだまだ心は童貞さんなんですね…

833 かく言う私も…っしょ…

834 君のものと見るとドキドキしちゃいます♡

835 今日は対面座位がいいです。

836 はい、君の顔を近くで見ながら…抱きしめ合いたい…

837 上から…失礼しますね…

838 はい、もう濡れていますから…

839

840 //

(挿入)

841

842 すぐに…ぬぷぷ…と…入ってしまいましたね♡

843 はぁ…相変わらず危険なものですね…

844 もう何度も経験し、なれているはずの私ですらこんなに気持ちいいんですからね。

845 他の雌^{めす}はきつと一発スOですよ。

846 もしやったら泥棒猫共々蜂の巣にしますけどね…

847 君はどうか…私の体、今でも気持ちいいでしょうか？

848 そうですか、私達相性抜群ですね…

849 勿論君専用ですよ？

850 他の雄に触おすれられるとか、死んだ方がマシです。

851 強姦なんかされたあかつきには…

852 無理…想像しただけで怖くなってきました。

853 抱きしめてキスしてください。

854 ほら…

855 【優しいキス20秒】

856 はあ…はあ…優しい…

857 まあ、君に無理矢理犯される想像は何度したか最早覚えていませんけどね…

858 たまには強引にしてくれても良かったんですよ？

859 君に強引に求められるの、絶対いいに決まっていますから。

860 君の隣に居られるならなんだって…

861 ああ…本当に行ってしまうんですね…

862 今…発情期ではないんですけど…中に出してください…

863 もしかしたら奇跡的に妊娠するかもしれないじゃないですか。

864 そしたら君は父親です、父は必ず妻と子の元へ帰らなければなりませんから。

865 少しでも君が帰って来なければいけない理由が欲しいんです。

866 はい、絶対に幸せな家庭を作りますよ…約束です。

867 この体勢だと…私が腰を上下に動かないとですね。

868

869 // (抽送 普通)

870

871 んっ…んっ…気持ちいい…

872 あまり私から動くことはなかったの…

873 なんだか新鮮ですね。

874 顔…もつとよく見せて下さいよ…

875 かっこいいです…

876 いやいや…世界一のイケメンですよ。

877 私が嘘をついていると思っているんですか？

878 ふふ…初めから素直に受け取ってくださいよ。

879 私の顔もよく見て下さい…

880 絶対に忘れないで…

881 狼の獣人はもう殆ど残っていませんからね。

882 というかこの国は私で最後です。

883 だから…君との子供を沢山産まなきゃいけなかったのに…

884 全く…種の保全ってやつも考えて下さいよ。

885

886 //（主人公…僕が戻れなかったら別の人と幸せになってほしい）

887

888 二度と、その手の意味の言葉を口に出さないで下さい。

889 本当に泣きますよ？

890 君以外の人となんて絶対に無理ですよ…

891 無責任に他の人と幸せになれなんて言わないで…

892 …こんなんじゃ…全然気持ちよくなれないですよね…

893 でも…今回は許して下さい…

894 最高のイチヤラブえっちは帰ってきてからでも…遅くない…と

895 信じていますから…

896 今夜は…中に出して終わりにしましょうか…

897 じゃあ…腰早く動かしますね…

898

899 //（抽送 早く）

900

901 【涙交じりに切なく喘ぐ15秒】

902 はぁ…はぁ…イキそう…ですか？

903 はい、いつでも大丈夫ですよ。

904 奥に…全部出し切って下さい。

905 絶対…君との子供…妊娠して見せますから…

906 はい…いつて下さい…！

907

908 //（射精）

909

910 んぐ…んつ…はぁ…はぁ…

911 お疲れ様でした…

912 私…こんなえつちが最後だなんて…嫌ですからね…

913 はい…約束ですよ。

914 …君はいつここを出て行くつもりなんですか？

915 ふむ…君、私が寝たら出てくつもりでしたね。

916 分かつちやいますよ。君の事なら何でも。

917 はぁ…別れの言葉くらい言わせてくださいよ…

918 ちょっと待ってくださいね、君に渡す物があるんです。

919 どうぞ、私のペンダントです。

920 ビリタス家の紋章が彫られているので、きっと何かの役に立ちますよ。

921 私には必要ないですからね。どうせ外見で私が誰か分かりますし。

922 私の事、忘れないくださいね…

923 それでは、ずっと待っていますから…

924 はい、行つてらっしゃい…

925

926 トリック10…紡がれず

927

928 …(正面20センチ)

929 …(全て投げ出してしまったように)

930 // (夜の海辺)

931

932 あーあ、追い出されちゃいましたよ。

933 勘当かんたうですって、まあ当然ですけど。

934 君との関係、洗いざらい白状しましたからね。

935 政治的価値もない、いい年してずっと泣いてるだけの馬鹿娘です。

936 …どうでしょうか、まあ、決まっていますけどね。

937 どう…君に会いに行きましょうか。

938 ふふふ…戦後処理にて私のコレクション達は全て鉄屑にされてしまいましたが、

939 これだけは隠しておいたんですよ。

940 君のくれた宝物、これだけは…失えませんか…

941 もう一つの宝物は洗濯せずにいたら呪物になってしまいましたからね。

942 子供も作れませんでしたから…これだけですよ。

943 ・（主人公から貰った銃）

944 君のいた証。

945 これで死んだら…君は、すつごく悲しむだろうなあ。

946 でも約束を先に破ったのは君ですからね。

947 ま、仕方ない仕方がない。

948 生きていたって、他の国の家に嫁いで、好きでも無い男に抱かれて

949 好きでも無い男の子供を産んで…

950 おえゝ死ぬ方が一億倍マシですね。

951 それでは…ふふ…

952 今…私も…向かいます…

953

954

エピローグ

955 :: (正面10センチ)

956 ・ (二人は )

957

958 やっと会えましたね…しっかりして下さいよ、全く…

959 …どうすれば私達、幸せになれたんですかね。

960 初めて君が抱いてくれたあの日、私を妊娠させていたら、

961 大人しく私達の間係を公表していたら、

962 最後の日、二人で逃げていれば…

963 割とどうにかなった気がします…はあ、今更ですね…

964 ま、これは一つの結末に過ぎませんから、大丈夫です。

965 次はきつと上手くいきますよ。

966 意味がわからないですか？そうですか…ふふふ…

967 まあ、そのうち分かりますよ。

968 私は待っていますから、いつだって、何度でも

969 君が扉を叩いてくれるのを。それでは…

970 ずっと愛していますよー！さようならです！

971

972

ケモミミ戦記 潔 完

973